

# 謹賀新年



明るく元気よくベストを尽くします。本年もよろしくお願いいたします。

# それいゆ 広報

Vol.134

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ  
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック  
TEL0577-35-3880 FAX(共通) 0577-35-3063
- 折茂医院  
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション  
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ  
TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ  
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ  
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ  
TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ  
TEL0577-34-5026
- Dr.Orishige ビオメゾン  
TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れざみ  
TEL0577-37-5666
- りあん・ど・それいゆ  
TEL0577-32-8166



新年あけましておめでとうございます。皆様からの多大なるご支援のおかげでつつがなく新年を迎えることができました。今年一年皆さまのご多幸とご健勝を心より祈念いたします。今年もどうぞよろしくお願い致します。

日本では高齢化社会あるいは超高齢化社会という言葉は、現在殆ど使われなくなりました。人間の寿命がどこまで伸びるのか予測できませんがそのうち高齢化率はピークに達し減少するであろうという予測はあります。百歳まで生きるのが当たり前になれば現役引退から死ぬまでに三十年から四十年があります。この期間認知症、フレイルをはじめ病気と無縁で過ごす人が実在しています。この事実から人間にはその様な潜在能力が備わっている可能性があるという事が推測できます。高齢者即要介護という思い込みを払拭し現役復帰を視野に入れた自立を目指す時

代の到来も夢ではないという事です。大多数の人が年を取り体力が衰え活力がなくなり次第に人とのつながりも失われ認知症、フレイル予備軍になるのが現状です。日本の福祉政策は介護認定を受ければ介護度に応じて恩恵を受けることができますが認知症、フレイル予防についてはまだまだの状態です。認知症、フレイルの予防薬はありませんが運動、栄養、人との関わり合いを含めたライフスタイルの改善で予防可能であることは証明されています。個人の努力だけで老化予防、健康長寿を目指すには限度があります。老化予防、健康長寿のためのライフスタイル、新しい知識の獲得を習得する高齢者専門大学を世界に先駆けて設立することが私の念願です。今は賛同する人がいませんがそのうち実現可能であると信じています。

# 介護老人保健施設それいゆ

リハビリ室主任 大岡輝貴

介護老人保健施設それいゆのご利用者様、ご家族様、並びに関係各位の皆様、新年あけましておめでとうございます。改めまして、今年も宜しくお願ひ申し上げます。

さて、今年の老健それいゆですが、昨年同様新型コロナウイルスを中心とする感染症対策を確実に実行し、BCP委員会を中心とした「事業継続計画」の策定で、大規模災害時にご利用者の皆様に安全にサービス提供ができる体制づくりに取り組んでいくことが予定されています。他にも事故防止に向けて新たな指標を取り入れたり、委員会毎にマニュアルの見直しや改定作業に取り組んだりしていく予定となっております。常に皆様に満足していただけるサービスが提供できるよう、職員各自が積極的に自己研鑽に取り組んでいくような雰囲気を感じられるようになってきています。

リハビリの方ですが、昨年までは強化型老健への昇格に合わせ、リハビリの実施頻度の向上を中心に、サービスの量的な充実を図ってきましたが、今年はこれに加え、質の面での向上も図るべく、アフターコロナを見据えながら各種研修への参加機会を増やしていきたいと考えています。同時に、組織への積極的な貢献を更に強め、職員間の横の連携や情報共有を促進することで、ネットワークづくりをより強力なものにしたいと考えています。

今のそれいゆに足りないものは何か、私達は今後、どのように成長していけば、ご利用者様や地域の皆様の為に一層役立つ存在になることができるのかといったことを職員同士で共有できるようにすることは、今年も各自が意識して業務にあたる必要がある点です。

また、アフターコロナという面では、これまで約三年に渡り地域との交流が制限された中で、老人保健施設が本来果たすべき地域内での役割はどういったものであるのかの再点検を行いつつ、改めて地域との絆を作っていく必要があると思います。リハビリとしてもこの点に寄与できるよう、老人保健施設からの訪問リハビリの検討など、あらゆる可能性を追求し、皆様のお役に立てる存在となれるように頑張っていきたいと考えます。私個人としても、これまでの人材育成と組織改革への取り組みを継続しながら、超強化型老健への昇格に取り生んでいく予定ですので、これまで以上に、皆様方からの叱咤激励を賜れば幸いです。どうか、宜しくお願ひ申し上げます。



## コロナ禍で老健に居ながら初詣！

リハビリスタッフの力作で  
疑似体験していただく取組みです。

明けましておめでとうございます。今年も卯年(うさぎ年)、皆様におかれましてはそれいゆデイケアとっても飛躍の年になるとを願ひます。

コロナウイルスの流行から早四年目となります。利用者様・家族様には検査やデイケア休止時などご協力いただきましてこの場をお借りしお礼申し上げます。

さて、デイケアとお泊りの利用者様との大きな違いは『送迎』があるということです。これがなかなか難しく、同じ曜日は同じコースで…とは行きません。受診やシヨートステイでお休みが入ると変更し、時間も考えて作成する必要があります。想像以上に時間を要するものです。そこで送迎システムを導入致しました。システムの導入により時間をかけずに正確にコースを組むことが出来るようになりました。時間をかけなくて済む分、利用者様との関わる時間を持つことが出来ます。

そして、『連絡帳』です。以前の様式は一か月で一枚の用紙を使用し必要な事だけをお伝えしてました。しかし現在は一回の利用につき一枚の様式です。デイケアで過ごしている様子を記入し、昼食のメニューやレクリエーションの内容を載せるなど内容の濃いものになっています。利用日の血圧や脈なども載せることで受診時に主治医に伝えるなどにも使用していただいております。利用者様はもちろん家族様にもお喜び頂いております。またご家族様からの記入欄もあり、ご自宅での様子をお伝えいただいたり、介護でお困りのことをご相談いただいたりとお活用していただいております。

これからの利用者様にとって良いことをどんどん取り入れてより良いそれいゆデイケアにしていきたいと考えています。

# 通所リハビリテーション

介護長 白川浩代



迎春準備  
花餅づくり  
12月27日



# 七歳時記



高山4Hクラブ慰問  
10月26日

高山4Hクラブの皆さんから安心安全で美味しい地場産の野菜やお米など沢山いただきました。

甘〜い香のリンゴ風呂

10月10〜12日  
堤果樹園さん(久々野町)のご協力です!



それいゆ文化作品展

11月11〜17日

リハビリの一環で、皆さん一生懸命作品作りに取り組みました。



## 永年勤続表彰

勤続十年を迎えた職員の特表表彰が、一月四日レザミひだメディケアガーデン南棟一階ホールにて行われ、理事長より感謝状と記念品目録が贈呈されました。心よりお祝い申し上げます。



### 【勤続十年】

ショートステイそれいゆ

介護福祉士 吉住明弘

Dr.Orisnige ブオモン

介護主任 杉山智実

折茂医院

事務職 都竹友紀

シャロン・ド・それいゆ

看護師 仁平富美子

准看護師 山下弓子

# りあん・ど・それいゆ

阿礼

「言葉」は温かく嬉しい気分になることもあれば、悲しい気分にはさせるもの。双方にとって意味のある方向に向かうことが出来る言葉を選び、後悔のない毎日を送る。

小林

周りの環境や人々への感謝を忘れず、良い時悪い時どんな状況でもぶれない芯のある自分を持ち飛躍する。

平田

美容家の佐伯チズさんのおじいさまの言葉「手は最高の道具、足は最高の道具、この言葉を胸に頑張る。」

所附

「笑門来福」笑いの絶えないりあん利用者様が毎日行きたいなと思っていただけのりあんにする。

中本

「二兎追う者は一兎をも得ず」しかし、二つ同時に行わなければならない場合がある。安全を確保・最優



先で行同する。

村川

食する中でのリスクを考慮（環境を整えることに留意）し、職員に指摘しながら、利用者様に季節を感じ喜んで頂けるよう努力し調理にあたる。



吉田

「り」利用者様の思いに寄り添い「あ」温かい笑顔あふれるそ「ん」な楽しい仕事に繋げる為のモチベーションを維持する。

中根

介護の仕事、利用者様への配慮を学び、精神面でのスキルアップを目指す。

柿本

利用者様や職員との交流の中で、学びを自分の財産にできるようしっかりと向きあい吸収していく。

川上

送迎・入浴で事故の危険性を感じることもあるが、習熟により安全にできるようなる。

## 質の向上に向けて

初春のお喜びとともに、新しい年を迎え本年が良い年でありますように。新型コロナウイルスの重症化リスクの低下とともに、外出制限の緩和により高山市にも多くの観光客が戻っており、感染者数の増加に不安な毎日を送られている事と思います。今後も感染予防に努めてまいります、ご協力よろしくお願いいたします。

シャロンでは自己評価と外部有識者による運営委員会、内部研修の実施等により常に『質の向上』に努力してまいりましたが、介護の難しさに苦慮することも多々あります。

利用者様の気持ちに寄り添った介護を大切にしながら安心した生活を送っていただけるように、より良いプランニングを行いたいと努力しております。

利用者様は多様な人生を歩んで見えました。また身体状態もみな違います。それぞれの生活、身体状態により必要なサービスも日々変化します。必要な時にサービスを的確に提供できるように努めてまいりたいと思っております。

介護でお困りの時に、いつでも安心して相談が出来る事業所、利用者様に寄り添った介護の提供を目標に、これからも質の向上に努めてまいりたいと思っております。

今後とも、ご指導ご支援よろしくお願いたします。



管理者 牧田 功

# シャロン・ド・それいゆ

# 介護支援専門員 鮎川宏子

介護支援専門員 鮎川宏子

新年明けましておめでとございます。

先の介護保険法改正により、令和六年度から事業継続計画（BCP）の策定が義務化され、当事業所でも話し合いを重ね計画を作成しております。まだ骨組みの段階ですが、今後改善・修正を加えながらより精度の高い計画にできるよう模索中です。

BCPは災害や感染症が発生しても事業を中断させない、万が一中断しても可能な限り短い時間で復旧させることを目的としています。今やいつ発生してもおかしくない新型コロナウイルス感染症のまん延、そして予測できない災害に対して、日頃からどれだけ備え、様々な場面想定や訓練を行うかによって有事の際の行動が変わると思います。非常時に最低限でも最善の支援ができるよう、業務の見直しや情報共有など、利用者様・ご家族様を事業所全体で支える体制を作れたらと考えております。

新しい年が皆様にとりまして幸多い一年となりまして、新年の挨拶とさせていただきます。



# それいゆ訪問看護ステーション

管理者 白川教子

新年あけましておめでとございます。

近年、高齢化に伴い看取りをめぐる在宅医療ニーズはますます高まりを見せています。二〇五〇年までに、地域包括ケアシステム構築に向けて訪問看護の量的拡大・訪問看護の質の向上・穏やかな人生の最終段階を支える看護専門職の育成をうたっています。死に逝く人と家族の生活を支援する訪問看護師の担う役割は今後更に重要性を増すと考えられます。自分も訪問看護師として、今年の課題、目標として、エンドオブライフケアを担う看護職の看取り・グリーフケア教育を重視していきたいと思っています。

もう一つ、現在の災禍で医療職のストレス・メンタルが問題になっていきます。看護師のストレス原因として患者さんとの死別による悲嘆、感染に対するの恐怖が大きな要因といわれています。しかし、一方、ケアの提供を通して自己の達成感・やりがい・専門職の成長にも繋がっています。悲嘆・恐怖と同時に、人間として内なる強さを身に付ける事が、重要だと思えます。流されず、強く、心も健康でありたいと思えます。



医療事務 上野莉奈

飛騨に帰郷し、十一月よりそれいゆ訪問看護ステーションの事務で働かせて頂いております。

働かせて頂くきっかけは、訪問看護ステーションの白川教子さんとの出会いでした。家族の看護でこちらを利用して頂き利用者として訪問看護ステーションの看護師さん全員とお会いしました。訪問される際は、いつ笑顔で聞き上手ですでお話しもご相談もたくさんできました。そんな中、医療事務の経験があるとお話しをしたところ白川さんに事務職のお誘いをしていただきました。

私が居ることで看護師さんが利用者様に向き合う時間を更に充実させるお手伝い出来るのではと思ひ、働くことを決意致しました。初日に看護師さん全員とお会いした際、訪問して頂いたときの嬉しかった思い、一緒に働ける感動が相まって涙が溢れてしまいました。人として魅力的な方々ですので、その魅力にたっぷり触れて人としても一段階成長できるような良いところを真似していきたいです。

まず第一歩として新年度の抱負は「一つ一つ確実にやりきる」ことです。任せられたお仕事を確実に遂行することと業務を円滑に進めて参ります。よろしくお願い致します。

管理者 野島尚子

# 介護支援専門員 野島尚子

新年明けましておめでとございます。旧年は、利用者様、ご家族様をはじめ他事業所様、皆様からのご利用とご理解を賜りまして、スタッフ一同心より御礼申し上げます。皆様、良い新年を迎えられたことと思われま。

コロナウイルスとの戦いが始まり、三年という月日がたち、私たちの生活スタイルは思いもよらなかったほど、変わってしまい、まだ変わりつつあります。いろんなことに対応できない自分がかしいこの頃です。人とのコミュニケーションも難しくなっています。一人暮らしの方、入所・入院されている方など、寂しさや不安をかかえているのではないのでしょうか？また、外出もままならず、運動不足になっていませんか？

私達訪問介護員は、おむつ交換や、掃除をしているだけではなく、利用者様一人一人の身体の状態や、心の変化を読み取り、今必要な事は何か？を話し合い、助言を行っています。介護保険という枠の中の業務しか行えませんが、保険外でして欲しいという事があれば、ご相談下さい。これからも世の中が変化を続け介護業界もロボット導入などを行っていくこととなりますが、私達訪問介護員は、人と人の触れ合いを大切にしたい、寄り添った介護に努めます。

本年もヘルパーステーションそれいゆを宜しく願います。



# Dr. Orihime Biozon

副施設長 折茂 いづみ

新年おめでとうございます。旧年中はご支援ご高配賜り、厚く御礼申し上げます。また感染対策につきましてもご家族様にはご理解ご協力いただき心より感謝申し上げます。「新型コロナウィルス」の流行が始まって四年目を迎え、Bioメゾンでは、感染対策に伴う新しい生活様式の実践、感染者の早期探知・封じ込めを第一課題とし、「地域の皆様から安心・信頼される施設」を目標に、今年も取り組んでまいります。また時代の変化とご入居者様のニーズに合わせて対応できる介護のプロフェッショナルを目指してICT活用による業務効率化を図ります。

先月のBioメゾン会議（感染対策の為書面会議）では、役職者から職員へ理事長方針を確認しました。管理者の連携会議でも繰り返し理事長から伝えられますが、年頭に際し、あらためて一人ひとりがしっかりと理解し、サービスを充実させながらも次につながるような仕事ができるか、それぞれが考え実践してまいります。

## ◎理事長方針

### 世のため人のために役に立つ

困難な問題にぶつかっても大変だととらえない  
困ったときは大きく伸びるチャンスだと思ってお互いに助け合い  
ありがたい気持ちで取り組み  
自分の知識・技術を高めるよう努力する

### 挨拶は基本

職員同士・ご入居者様に挨拶をする

人の陰口は言わない  
お互いの人権を尊重しご入居者様が安心・安全に生活できるように支援する

今年の干支の「卯」のようにコロナを飛び越え次なる飛躍の年となるよう職員一同努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症予防対策は三年目となり、対策することが日常となりましたが、いざご利用者様が陽性と判明すると、未だ慌てずにはいられません。その際、フロアについては感染拡大防止の為ゾーニングを行い対応しますが、人手が欲しいばかりの日々の業務に加え更なる対策の為、皆互いに声を掛けながら取り組んでいます。つい、「大変だ」と口から出てしまいますが、言葉にするとその通りになったり、状況が継続してしまいます。言葉は言葉と言われ言葉には魂が宿ります。日本では、古くから縁起の悪い言葉を嫌い、お祝いの席では「終わる」を「お開き」と言いかえる等、気づかって生活してきたといわれています。

悪い言葉がよくない現実になるのに対し、良い言葉は現状を良い方向に導いてくれると願い、希望の言葉を声に出して広めていけるようにしたいです。

困難や辛いことに立ち止まらず、乗り越えられる強い心を持ち、明るく優しくなやかでありたいと思います。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



# ショートステイそれいゆ

管理者 長瀬 千春

# ダイサービスセンターれぞみ

管理者  
理学療法士 宇田輝彦

新年おめでとうございます。  
新春迎えまして、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

一年というのは長いようで早いものです。管理者を任されまして、充実感溢れるあつという間の一年間でした。責任ある立場だからこそ、一つ一つの仕事を丁寧に行い、ご利用者様一人ひとりの嬉しいお言葉や、時にうらぶれた気持ちに接することができました。

今年度の当事業所の取り組みとしては、『挑戦と調整』をモットーに、機能訓練やレクリエーション、作業活動に挑戦する課題を持ち、各々にテーマを考えてそれをサポートさせていただけるよう邁進します。そしてスタッフが一緒に一喜一憂できる空間を提供していきます。今年度もよろしくお願い致します。



# 病児保育室プティそれいゆ

管理者 中谷美穂

新年明けましておめでとうございます。依然としてコロナ禍にありますが、皆さまにご理解とご協力を頂き、ご利用いただきましたことに心より御礼申し上げます。

風邪などに感染せず成長する子はいないのですが、お子さんが体調を崩すたびに親御さんが大きな負担を負っていると感じます。そのような中で、少しでも利用しやすく、そして安心してご利用いただけるようにと日々考えてきました。同時に、子供たち一人一人の個性を尊重



し、大切な存在であることを伝えていくことも大事にしています。私自身を振り返っても、子供の体重や発達、これが出来ないあれが出来ないと子育てに悩み、仕事が休めない、迷惑をかけられないと仕事に悩み、毎日が精一杯だった事を思い出します。子供も大人も個性や考え方は一人一人違います。他の誰かと比べるのではなく、自分やお子さんの個性や気持ちを大切にし、良いところや得意な事を見つけていける、そのような手助けが出来たら嬉しいと、スタッフ一同、感性のアンテナを育て学んでいます。

今年も皆さまにとりまして実り多い年となりますよう、心よりお祈りいたします。本年もよろしくお願いたします。



# 同仁会の元気な仲間 大募集!



- ①看護師・准看護師(老健施設・デイサービス・訪看)
- ②介護職(老健施設・小規模・訪問介護)
- ③言語聴覚士・理学療法士・作業療法士  
(老健施設)
- ④ケアマネ(ケアプランセンター・小規模多機能)
- ⑤介護助手(無資格パート)

- 資格 / 18歳以上  
(介護職は資格取得見込も可)
- 時間 / シフト制(応相談)
- 給与 / 当法人の規定による
- 休日 / 1ヵ月単位の変形労働時間制  
年間休日105日
- 社会保険完備、各種手当有り、福利厚生有り



- 子育て中でも職場のスタッフがフォローしますので仕事がしやすい環境です
- 産休・育休等、安心の福利厚生
- Dr.が24時間対応だから夜勤も安心です
- パート希望の方はご相談下さい
- 20~70才代まで幅広い年代が在職し家族のような雰囲気です



新年に当たり私たちも気持ち新たに真と評価されるサービスの提供が継続できますよう努力してまいります。本年もよろしくお願いたします。

そんな監督との信頼関係が築かれ、共に勝利目指し進んだからこそ、目標に到達し誰にはばかることなく堂々とその喜びを發揮出来たのであり、偽りのない真の努力を積み重ねた人の美しさが観る者を惹きつけました。

優勝した駒沢大学は監督がご夫婦で選手達の食事作りをされ、健康面のサポートやコミュニケーションもとても大切にしていたという事を後で知り、普段からの監督の選手達への思いが、あの身体ごと監督に武者ぶり付き、最後は盛大な胸上げの展開に至るといふ学生達の心からの感謝の気持ちに表れたのでしょうか。そこに至るまでの指導者としての監督も学生達以上に自身を鼓舞し努力されたことと思います。学生達も『こんな監督、ほかのチームでは見たことがない』とその姿を励みにして頑張っていたようです。

利の喜びを分かち合う場面を目にしました。今の日本で久しぶりに見る光景であり、新鮮な気持ちで魅入ってしまいました。

## 編集後記

二〇二三年がスタートしました。年頭恒例の箱根駅伝大会の中継をやっており、優勝した駒沢大学の学生さんや監督が顔中くしゃくしゃにして抱き合っていました。